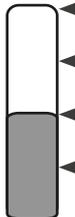


事業目標 1：琵琶湖の魅力を深く掘り下げ、世界に紹介

1-1. 世界有数の古代湖としての琵琶湖の価値を高める研究の推進



1-2. 研究成果を国内外に発信し、琵琶湖の魅力を人々に伝える



1-3. 研究の質を高める環境の整備ならびに研究の活性化



事業目標 2：資料を未来に遺し、どこからでも使えるように整備

2-1. 標本・資料の管理体制の強化



2-2. 標本・資料の整理の推進と公開による利用促進



2-3. ICTを利用し、だれでも・どこでも・いつでも使える博物館を創出



事業目標 3：みんなで学びあう博物館へ

3-1. 幅広いニーズに応える交流事業の充実



3-2. 出会いの場の創出



3-3. 「深く学ぶ力」に基づく琵琶湖学習の支援



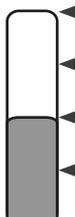
令和4(2022)年度 内部評価

琵琶湖博物館 LAKE BIWA MUSEUM

出あい、学びあい、
琵琶湖を世界へ
発信する博物館へ

事業目標 4：もっと使いやすい博物館へ

4-1. 誰もが楽しみ学べる博物館展示への成長



4-2. 「観る」展示から「観る+使う」展示への成長



4-3. 社会の変化や研究成果を反映させた展示の成長



事業目標 5：より多くの人が利用する博物館へ

5-1. ICTを活用した琵琶湖の魅力とその入口としての博物館の紹介



5-2. 双方向の広報や各種調査・評価による情報収集と事業への反映



5-3. 来館しやすい環境の整備



事業目標 6：博物館の活動を安定して継続する

6-1. 老朽化した施設の改修と災害への備え



6-2. 安定した活動基盤を確保する仕組みづくり



対象年度の重点事業実施傾向



順調に進んでいる



維持・停滞



やや進んだ



悪くなった

目標に向けた状態



達成されている

少し課題が残されている

課題がある

大きな課題がある